

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5
Tel: 0266-52-3131 (代表)

<http://www.epson.jp>

株主メモ

当社は2010年12月3日をもって、株主名簿管理人を三菱UFJ信託銀行株式会社へ変更いたしました。

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、 支払明細発行のお問い合わせ先・郵便物送付先*	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きのお問い合わせ先・郵便物送付先*	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	http://www.aspir.co.jp/koukoku/6724/6724.html

* 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

* なお、特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求のうえ、同行にて所定の手続きを行ってください。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

セイコーエプソン株式会社

2011年3月期

中間株主通信

2010年4月1日～2010年9月30日



連結財務ハイライト

経営理念

お客様を大切に、地球を友に、
個性を尊重し、総合力を発揮して
世界の人々に信頼され、社会とともに発展する
開かれた会社でありたい。
そして社員が自信を持ち、
常に創造し挑戦していることを誇りとしたい。

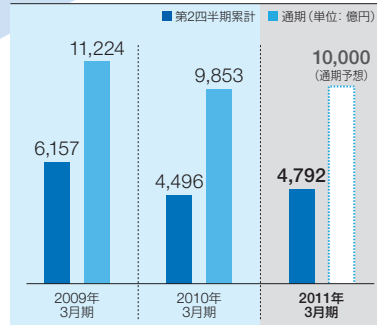
(エプソンは経営理念を世界の14の言語に翻訳し、グループ全体で共有しています。)

目次

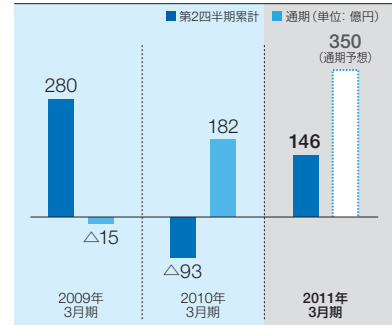
連結財務ハイライト	1
株主のみなさまへ	2
当中間期の連結業績について	3
特集: 2010年 新商品のご紹介	5
環境活動	8
連結決算の概要	9
会社情報 / 株式情報	10

本文中、セイコーエプソングループにつきましては「エプソン」、セイコーエプソン株式会社につきましては「当社」と記載しています。

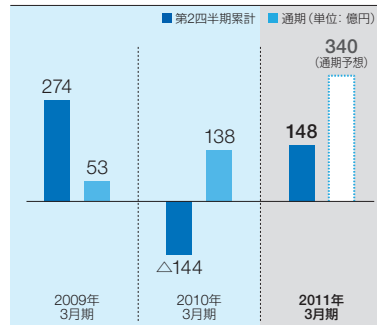
売上高



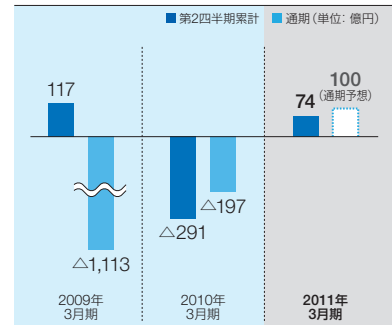
営業利益(△損失)



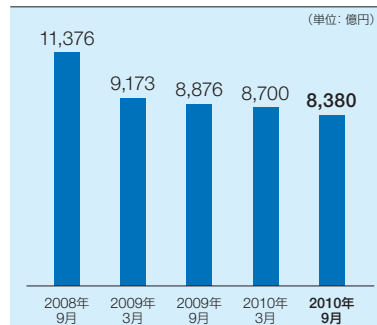
経常利益(△損失)



当期(四半期) 純利益(△損失)



総資産



純資産 / 自己資本比率



(注) 1. 2011年3月期通期の売上高および各利益は、2010年10月29日公表の予想金額です。
2. 自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いて算出しています。

株主のみなさまへ



株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに2011年3月期中間株主通信をお届けいたしますので、
ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **碓井 稔**

当中間期(2010年4月～9月)の取り組みについて

現在、エプソンは、長期ビジョン「SE15」の目指す姿である「強い事業の集合体」の実現に向け、強みが活かせる分野や成長領域に経営資源を集中し、これらの事業基盤を徹底的に強化することなどを柱とする中期経営計画に取り組んでいます。その二年次に当たる今期は、「確実に利益が確保できる企業体質の定着」を目標として掲げ、さまざまな施策を展開しております。

このような状況のもと、当中間期におきましては、経済環境が不透明な中で始まったことを踏まえ、より早い段階からの収益積み上げを目指して販売強化や費用削減に注力してまいりました。その結果、各市場の需要回復の動きを確実に捉え、また、従来取り組んできたコスト構造改革の効果も重なり、情報関連機器・電子デバイス・精密機器の各セグメントにおいて期初計画以上の成果をあげることができました。

これにより、当中間期の営業利益など各利益は従来予想を上回る結果となり(詳細は3ページをご覧ください)、今期の通期業績目標である「当期純利益ブレイクイーブン以上」の達成が視野に入っております。

株主様への利益還元について

当中間期の配当につきましては、上記のとおり期初計画で見込んでいた利益水準を確保することができたことから、従来予想と同額の1株当たり10円とさせていただきます。

エプソンは、株主のみなさまへの利益還元につきまして、経営の効率および収益性の改善により、さらなるキャッシュフローの創出に努め、安定した配当を継続することを基本としております。そのうえで、今後の事業戦略に応じた資金需要および業績や財務状況などを勘案し、中長期的に連結配当性向30%を継続的に実現することを目標として利益還元を行う所存です。

今後の課題と施策について

下期は、為替動向や欧米をはじめとする各地域の景気動向など、依然として予断を許さない状況が続くものと見込まれます。先に挙げました今期の目標である「確実に利益が確保できる企業体質」とは、為替や世界経済の動向などの外部環境に左右されることなく、一定以上の利益を生み出すことのできる強い収益構造を示すものであり、このような環境下においてこそ、体質改善の成否が問われるものと認識しております。

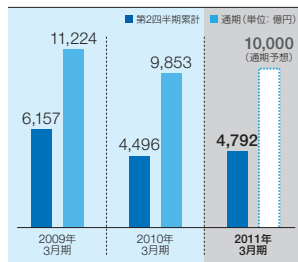
エプソンの強みをさらに磨き、新たな地域や領域のお客様にも最適な商品をお届けするための活動に力を入れ、また、中・小型液晶ディスプレイ事業の構造改革の総仕上げなど、改革への取り組みの手綱も緩めることなく完遂し、長期ビジョン「SE15」実現に向けた「新たな成長軌道の確立」のための土台作りに邁進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

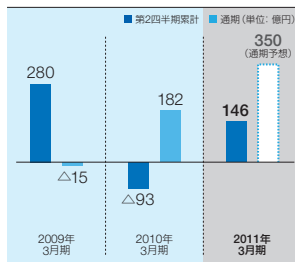
2010年12月

当中間期の連結業績について

売上高 **4,792** 億円
(前年同期比 6.6% 増)



営業利益 **146** 億円
(前年同期は 93 億円の営業損失)



エプソンを取り巻く経済環境

- 昨年後半から続く景気回復が継続しました。
- 足元にかけては、回復のピッチが緩やかとなり、各地域の経済活動や為替動向など、予断を許さない状況の継続が見込まれます。
- 当中間期の為替レートは米ドル88.95円(前年同期比7%円高)、ユーロ113.85円(前年同期比15%円高)となりました。

エプソンの取り組み

- 長期ビジョン「SE15」実現に向け、当期は確実に利益が確保できる企業体質の定着に向けた活動を推進しています。
- 事業構造の転換を推し進め、プリンター事業、プロジェクター事業、水晶・センサー事業に経営資源を集中します。
- 新たな成長軌道確立に向けた取り組みを着実に実施します。

当中間期の成果

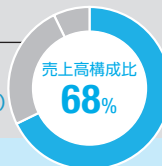
- 売上高4,792億円(前年同期比6.6%増)、営業利益146億円(前年同期は93億円の営業損失)と増収増益となりました。
- 景気回復の流れを受け、ビジネス向けのプリンターやプロジェクターなどの拡販に取り組みました。
- 中・小型液晶ディスプレイ事業の一部資産の譲渡など構造改革を進めました。

事業の種類別セグメントの概況

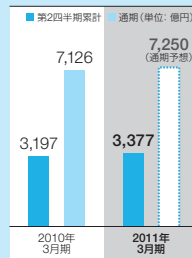
(注) 当連結会計年度より、セグメント情報に関する新しい会計基準を適用し、前連結会計年度の金額は、当連結会計年度のセグメント情報の測定方法で再計算しています。

情報関連機器事業セグメント

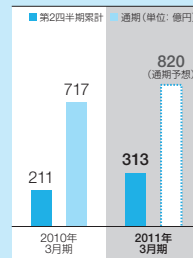
売上高 **3,377** 億円 (前年同期比 5.6% 増)
セグメント利益 **313** 億円 (前年同期比 47.9% 増)



売上高



セグメント利益



カラリオ ミー 宛名達人 E-810



ドットマトリクスプリンター 106 桁水平型モデル VP-F2000



ホームプロジェクター ドリーミオ EH-R4000

■ プリンター事業

インクジェットプリンター、ページプリンター、ドットマトリクスプリンター、大判インクジェットプリンターおよびそれらの消耗品、カラーイメージスキャナー、ミニプリンター、POSシステム関連製品など

■ 映像機器事業

液晶プロジェクター、ラベルライターなど

■ その他

PCなど

ビジネス向けを中心に販売数量を増加させるとともに、コスト削減効果により増収増益となりました。

- インクジェットプリンターは本体・消耗品とも販売数量増加。
- ビジネス用途向け、エマージング市場向けを中心にインクジェットプリンターのラインアップを拡充。
- ドットマトリクスプリンターの中国・アジア地区などでの販売数量増加。
- POSシステム関連製品の回復。
- 商業・産業用向けにラベル印刷機、インクジェットデジタルミニラボなど新分野向け商品の販売開始。
- プロジェクターは教育用途/ビジネス用途向けを中心に販売数量増加。

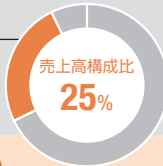
3～4ページに掲載している

●売上高構成比は、2010年4月～9月の内部売上高を含めて算出しています。

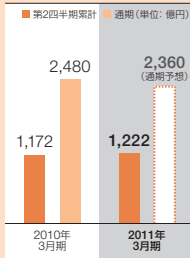
●2011年3月期通期の売上高、営業利益およびセグメント利益は、2010年10月29日公表の予想金額です。

電子デバイス事業セグメント

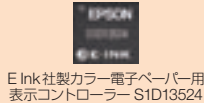
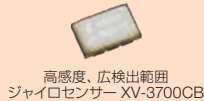
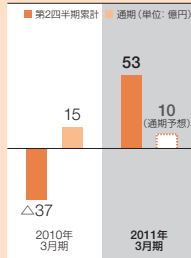
売上高 **1,222** 億円 (前年同期比 4.2% 増)
セグメント利益 **53** 億円 (前年同期は 37 億円のセグメント損失)



売上高



セグメント利益(△損失)



■ 水晶デバイス事業

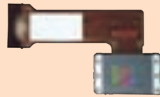
水晶振動子、水晶発振器、水晶センサー、
オプトデバイスなど

■ 半導体事業

CMOS LSIなど

■ ディスプレイ事業

液晶プロジェクター用高温ポリシリコンTFT液晶パネル、
中・小型液晶ディスプレイなど

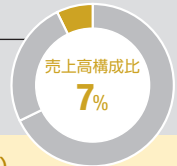


需要回復による増収を確実に利益に結びつけることができました。

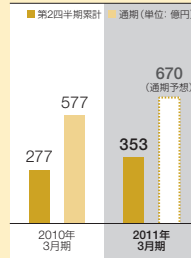
- 半導体事業は、需要回復による売上高の増加や稼働率の改善により採算改善。
- 水晶・センサー事業は市況の回復を捉え増収増益。
- 高温ポリシリコンTFT液晶パネルはプロジェクター向けに堅調に推移。世界初の反射型高温ポリシリコンTFT液晶パネルの販売開始。

精密機器事業セグメント

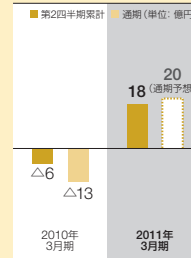
売上高 **353** 億円 (前年同期比 27.5% 増)
セグメント利益 **18** 億円 (前年同期は 6 億円のセグメント損失)



売上高



セグメント利益(△損失)



■ ウォッチ事業

ウォッチ、ウォッチムーブメントなど

■ 光学事業

プラスチック眼鏡レンズなど

■ FA機器事業

水多関節型ロボット、ICハンドラー、工業用インクジェット装置など

景気回復に伴い増収増益となりました。

- FA機器事業は、企業の生産回復を捉え、ICハンドラーおよびロボットの販売が好調に推移。
- ウォッチの販売が回復。
- 光学事業は、眼鏡レンズにおいて販売数量増加も低価格化が進み減収。

その他および全社費用

【その他】

売上高 **5** 億円 (前年同期比 25.9% 減)
セグメント利益 **△2** 億円 (前年同期は 1 億円のセグメント利益)

【全社費用】

売上高 **11** 億円 (前年同期比 9.9% 増)
セグメント利益 **△238** 億円 (前年同期は 262 億円のセグメント損失)

■ 胎内育成事業

■ グループ内サービス業など

暮らしの中で、無くてはならない存在へ

エプソンはお客様との生活密着度を高め、毎日の生活の中に溶け込み、気軽にお使いいただける商品をお届けすることで、「無くてはならない存在になる」ことを目指しています。

この秋発売のインクジェットプリンター「カラリオ」の新商品も、お客様の声をもとに「カンタン」「快適」を強化し、これからの暮らしに役立つ機能を高めました。



Colorio

カンタンLEDナビだから、迷わずスムーズに操作ができます。

操作手順にあわせて、そのときに使用できるボタンだけが光る「カンタンLEDナビ」は、迷うことなく目的の操作へガイドしてスムーズな操作を実現します。誰でもカンタンに、いろいろな機能が使える先進のナビゲーション機能です。

LEDステータスバー

- 

光っているホームボタンを押し、メニューから「写真の印刷」を選択
- 

ー、+ボタンが光って、印刷枚数の選択が可能に
- 

印刷設定を確認してから、スタートボタンでプリント開始

使いやすい先進の機能が充実しました。

遠くからでもプリントの状態がわかるように、LEDステータスバーが光ってお知らせします。エラー時には点滅が速まるとともに音でもエラーをお知らせします。

チルトパネルは90°まで角度調節が可能です。どんな体勢からでも、どんな高さの位置にプリンターを置いても、操作がしやすい設計となっています。

LEDステータスバー



プリンターの状態が離れた場所から確認可能

- 通常動作中は、ゆっくり点滅
- 操作中、スリープ中などには消灯
- エラー時は点滅が速くなる

90°チルトパネル



90°まで角度の調節が可能

無線LANで、ブラック&ホワイトデザインで、どこにでも置ける、みんなで使える

いつでも、どこからでもプリントできます。

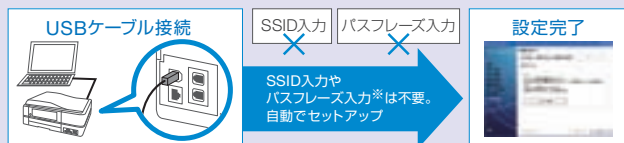
無線LAN対応のカラリオなら、プリンターとパソコンがワイヤレスでつながります。プリンターをパソコンの横に固定する必要がなくなり、もっと自由に、快適に、プリントを楽しむことができます。

どんな環境でも、無線LAN設定はカンタンです。

無線LAN対応のカラリオなら、無線LANの設定・接続もカンタンです。お客様の環境にあわせて選べる設定方法をご用意しています。

■ USBでもカンタン無線LAN設定

プリンターとパソコンをUSBで接続し、あとはプリンターに付属のソフトウェアの手順に従うだけ。設定後USBケーブルを外せば、無線LANの設定が完了です。



* Windows Vista、Windows 7、Mac OS Xでお使いのお客様が対象です。Windows XPのお客様はパスフレーズの自動入力に対応していませんが、USBを利用した無線LAN設定はご利用いただけます。パスフレーズの自動入力はお使いの環境によっては取得できない場合があります。

■ AOSS™自動無線LAN設定



* オプションのプリントアダプターを使用する場合は、プリントアダプターの背面にある設定ボタンを押します。
* AOSS™は株式会社/バッファローの商標です。

■ WPS (Wi-Fi) でもカンタン無線LAN設定

WPSは、Wi-Fiによる無線LAN設定方式。プリンターの操作パネルのセットアップメニューに従い操作するだけで、カンタンに設定できます。

調和するデザインだから、置く場所を選びません。

無線LANならプリンターを家中どこにでも置くことが可能です。しかもカラリオは、リビングや書斎など使う空間に調和し、他のデジタル機器とも統一感が取れるデザインなので、どこにでも置いて快適に使えます。

■ 好みに合わせて選べるカラーバリエーション

おすすめモデルのEP-803A/AWにはブラックとホワイトのカラーバリエーションをご用意しました。お部屋の雰囲気にあわせてカラーが選べます。

■ 置く場所を選ばないスリムボディー

多機能でありながらスリムボディーを実現しています。さらに、前面給紙で背後のスペースを不要にし、設置の自由度を高めています。



ビジネスでも、商業・産業分野でも、無くてはならない存在に

世界最薄* 44mmのモバイル型プロジェクター「EB-1775W/1770W/1760W/1750」を発売

「EB-1775W/1770W/1760W/1750」は、日本をはじめとした企業ユーザーの皆様の声をもとに、「薄い、軽い、簡単に使える」といったニーズを実現したモデルです。厚さが44mm、重さが約1.7kgのスリムサイズを実現していますので、ノートPCや資料と一緒にバッグに入れて持ち運びができ、外出先での会議やプレゼンに力を発揮します。

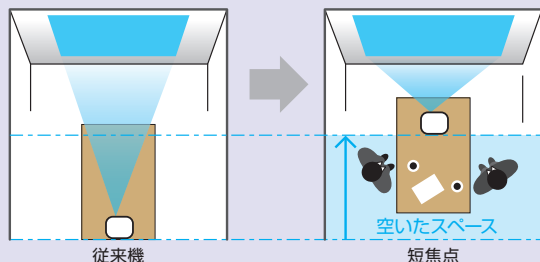


* 3LCD方式プロジェクターとして、2010年9月現在、エプソン調べ。

外出先のプレゼンでも安心の明るさと、狭い場所でも大画面を実現する短焦点レンズを搭載

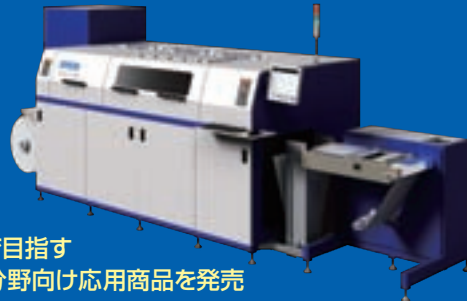
「EB-1775W/1770W」は、スリムサイズながら、明るい部屋でもくっきり鮮明に見られる明るさ3,000lmを実現しています。また、「短焦点レンズ」の搭載で、短い距離でも大きな画面で投写が可能です。外出先のさまざまな環境での打合せやプレゼンを快適に支援します。さらに「前面排気」により熱風をさけて座る必要がないので、デッドスペースが削減できます。

短焦点レンズによるスペース効率



産業用インクジェットデジタルラベル印刷機

SurePress L-4033A 新登場



長期ビジョンを目指す
商業・産業用分野向け応用商品を発売

SurePress L-4033Aは、「高画質印刷」、「小ロット短期納期印刷」、「低コスト印刷」、「環境負荷の少ない印刷」などラベル印刷における市場ニーズを満たし、小ロットラベル印刷の受注機会増加と利益創出を支援する産業用インクジェットデジタルラベル印刷機です。エプソンのインクジェット技術「マイクロピエゾテクノロジー」による高画質で正確かつ安定した印刷と、新開発の「SurePress AQ ink」、「ヒートアシスト機構」による印刷本紙への対応、さらにシンプルな機構と操作性、優れたメンテナンス性で、ラベル生産における業務効率化・コスト削減・環境負荷低減を実現するデジタルワークフローへの移行を支援します。

デジタルワークフローとアナログワークフローの比較

デジタルワークフロー (SurePress)



アナログワークフロー (現状のワークフロー)



環境活動

「信州省エネパトロール隊」が省エネ大賞 資源エネルギー庁長官賞を受賞

エプソンが活動に協力している「信州省エネパトロール隊」が、経済産業省主催の平成21年度省エネ大賞の組織部門支援サービス分野において資源エネルギー庁長官賞を受賞しました。2010年2月10日、東京ビッグサイトにて表彰式が行われ、引き続き行われた事例発表でも、「信州省エネパトロール隊」の活動を多くの方に知っていただくことができました。

今回は、以下の点が評価され、受賞につながりました。

- 長野県下の中小企業を対象に、長野県と企業の連携の下、ボランティアで省エネ診断を実施（2000年から9年間で200社以上）。
- その診断結果（提案）に基づく省エネ施策を講じた場合、約11,000kl（原油換算）の省エネ効果が見込まれる。
- 地域企業・団体による省エネに関する自主的な取り組みとして、他の地域に普及することが期待される。

今回の受賞を励みにさらなる飛躍を目指し、今後の活動を発展させ、省エネに貢献してまいります。



資源エネルギー庁長官から表彰される、長野県環境保全協会諏訪支部小松支部長（セイコーエプソン株式会社業務執行役員常務）

「信州省エネパトロール隊」とは

「信州省エネパトロール隊」は、長野県内の技術者たちが企業の壁を越えてネットワークを作り、長野県内の中小企業や官庁・病院など、家庭を除くさまざまな施設の省エネルギー診断を行うボランティア組織です。

エプソンは、早くから多様な環境保全活動に積極的に取り組んできました。その成果を地域社会にも役立てていただこうと、活動を通して蓄積してきたノウハウを事例集としてまとめ、諏訪地域の企業に配布しました。事例集は非常に好評であり、「実際に現場を診断してほしい」という声も多くいただきました。その声を受け、2000年に諏訪地区の有志企業とともに立ち上げたのが「諏訪地域省エネパトロール隊」です。

当初は、諏訪地域の製造業を中心に、施設の無料省エネ診断を実施してきましたが、その活動が広く認められ、2005年に「信州省エネパトロール隊」として活動範囲を長野県全域に拡大しました。

現在は、エプソンを含む長野県内13企業から集まった約50名の隊員により活動を行っており、診断も製造業の他、病院・宿泊施設・商業施設・百貨店・報道関係・官公庁など業種を問わずさまざまな施設に実施しています。

エプソンは「信州省エネパトロール隊」の事務局、隊長を務めるなど、活動に幅広く協力しています。

隊員は、エネルギー管理士（電気、熱）、電気主任技術者などの有資格者により構成されており、いわゆる省エネのプロによる診断が行われています。これらの活動は、地球温暖化防止（CO₂排出削減）、資源の削減対応（エネルギー効率化）、企業の体質強化（経費削減、利益向上）などを主な目的として活動しており、受診した企業をはじめ多方面から高い評価を受けています。

これまでに、平成15年度「信州エコ大賞」をはじめ、平成19年度「長野県知事表彰」、「日本環境経営大賞」（三重県主催）、平成20年度「地球温暖化防止活動 環境大臣表彰」などを受賞しています。

連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位: 億円)

	2011年3月期 第2四半期連結会計期間末 (2010年9月30日現在)	2010年3月期 連結会計年度末 (2010年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,771	5,962
固定資産	2,608	2,738
有形固定資産	2,182	2,253
無形固定資産	164	180
投資その他の資産	261	304
資産合計	8,380	8,700
負債の部		
流動負債	3,313	3,286
固定負債	2,402	2,585
負債合計	5,715	5,872
純資産の部		
株主資本	3,303	3,248
資本金	532	532
資本剰余金	843	843
利益剰余金	1,928	1,873
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	△653	△435
少数株主持分	14	15
純資産合計	2,664	2,828
負債純資産合計	8,380	8,700

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。

2. △はマイナスを示しています。

四半期連結損益計算書の要旨

(単位: 億円)

	2011年3月期 第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	2010年3月期 第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
売上高	4,792	4,496
売上総利益	1,247	1,065
営業利益または営業損失(△)	146	△93
営業外収益	38	37
営業外費用	36	88
経常利益または経常損失(△)	148	△144
特別利益	9	4
特別損失	24	64
税金等調整前四半期純利益 または税金等調整前四半期純損失(△)	134	△203
少数株主損益調整前四半期純利益	75	—
四半期純利益 または四半期純損失(△)	74	△291

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。

2. △はマイナスを示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位: 億円)

	2011年3月期 第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)	2010年3月期 第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△112	△321
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31	64
現金及び現金同等物に係る換算差額	△101	△44
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△299	△264
現金及び現金同等物の期首残高	2,545	2,843
新規連結に伴う 現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,247	2,578

(注) 1. 金額については、記載単位未満を切り捨てています。

2. △はマイナスを示しています。

会社情報 / 株式情報 (2010年9月30日現在)

- **本社** 〒392-8502
長野県諏訪市大和三丁目3番5号
TEL: 0266-52-3131(代表)
- **本店** 〒163-0811
東京都新宿区西新宿二丁目4番1号新宿NSビル
TEL: 03-3348-8531(代表)
- **資本金** 532億4百万円
- **創立** 1942年5月18日
- **従業員数** 連結: 79,914人 単体: 13,484人
- **グループ会社** 102社(当社を含む)

国内関係会社

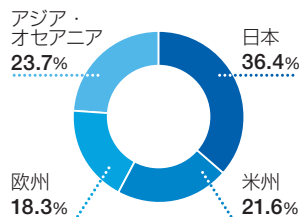
エプソン販売株式会社 東北エプソン株式会社
エプソンダイレクト株式会社 秋田エプソン株式会社
エプソントヨコム株式会社 エプソンイメージングデバイス株式会社
他 18社

海外関係会社

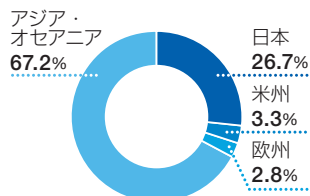
U.S.Epson, Inc. (地域統括)
Epson Europe B.V. (地域統括)
Epson (China) Co., Ltd. (地域統括)
Epson Singapore Pte. Ltd. (地域販売統括)
Epson America, Inc. (販売)
Epson France S.A. (販売)
Epson Precision (Hong Kong) Ltd. (製造)
P.T. Indonesia Epson Industry (製造)
Suzhou Epson Co., Ltd. (製造)
Singapore Epson Industrial Pte. Ltd. (製造)
他 67社

■ 仕向地域別売上高の割合

(2010年4月~9月)



■ 所在地別従業員数の割合



■ 役員

取締役ならびに監査役		業務執行役員	
取締役会長	花岡 清二	業務執行役員常務	小松 宏
取締役副会長	服部 靖夫		John Lang
取締役社長 (代表取締役)	碓井 稔		上柳 雅誉
専務取締役 (代表取締役)	両角 正幸	業務執行役員	酒井 明彦
常務取締役 (代表取締役)	久保田 健二		伊藤 一紀
常務取締役	矢島 虎雄		森 昭雄
	平野 精一		小池 清文
取締役	濱 典幸		宮川 隆平
	羽片 忠明		遠藤 鋼一
	福島 米春		田場 博己
常勤監査役	内田 健治		久保田 孝一
	小口 徹		奥村 資紀
監査役	山本 恵朗		
	石川 達紘		
	宮原 賢次		

■ 株式の状況

発行可能株式総数	607,458,368 株
発行済株式総数	199,817,389 株
株主の総数	39,036 人

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(千株)	所有比率(%)
青山企業株式会社	20,718	10.36
三光起業株式会社	14,288	7.15
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,188	4.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,238	4.12
セイコーホールディングス株式会社	7,948	3.97
服部 靖夫	7,156	3.58
服部 禮次郎	7,060	3.53

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てています。
2. 所有比率は、小数点以下第3位を切り捨てています。